

リボーン工法による
復元美装工事例

＜木製物件抜粋＞

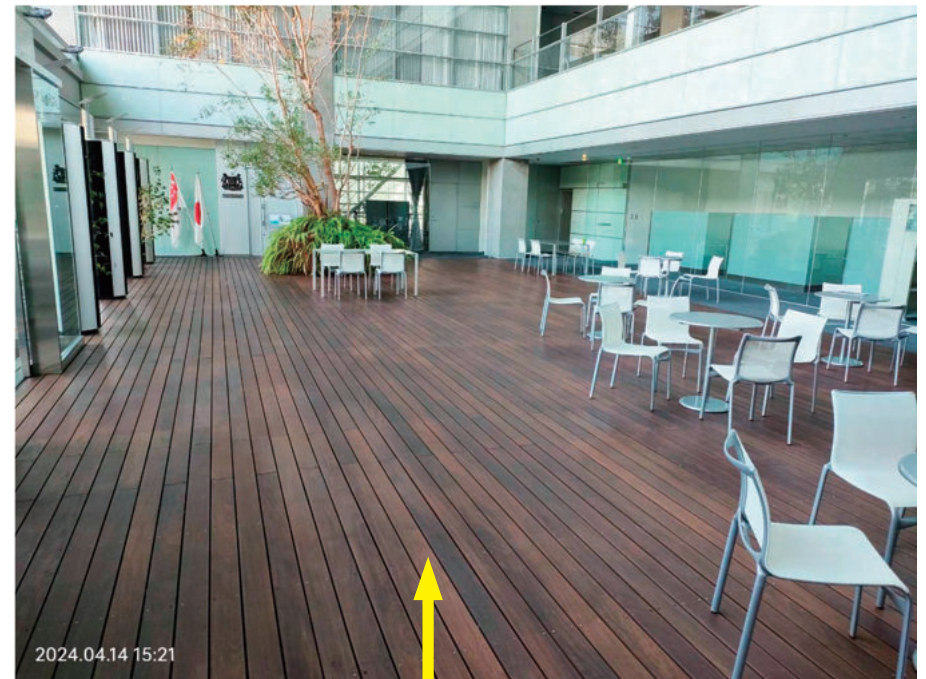


Iris

株式会社 イリス



汚れが付着し、天然木の本来の色や木目が
ほぼ見えない状態になっています。



汚れを除去し、ガラスコーティング(シリカ)施工。
シミ汚れや表面の黒ずみが取れ、天然木特有の木目
が現れ、高級感のある外観を取り戻しています。

某民間結婚式場 外部木部 洗淨・コーティング

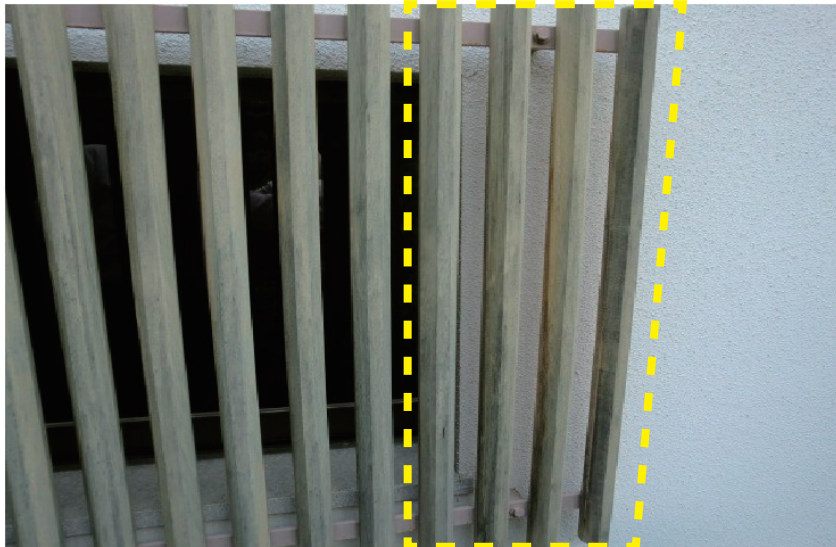
付着した積年の汚れ、カビを除去後、お好みの色付けを行い、天然木の木目や質感を生かすようなコーティングを施し、美しさの保持と、防汚・防カビの効果を付与しています。



洗淨・コーティング後



施工前



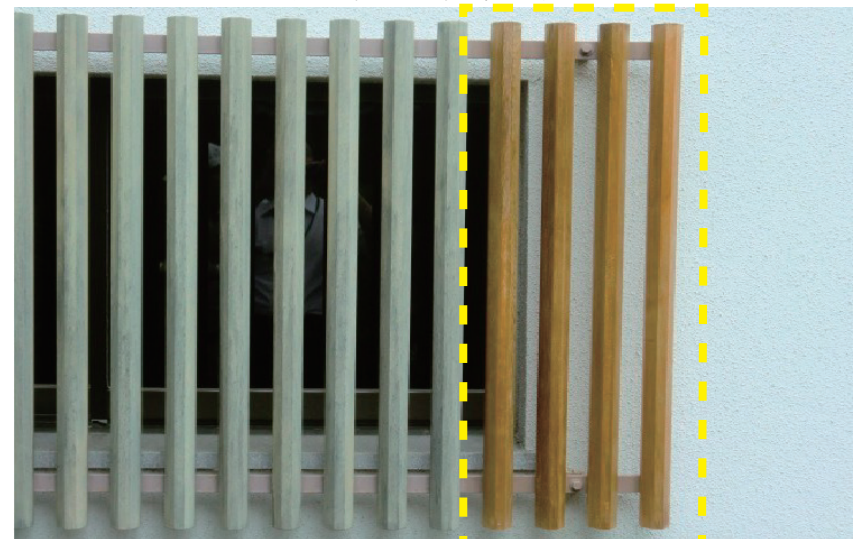
洗浄作業



コーティング作業

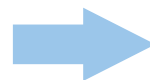


乾燥後作業終了

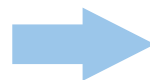


(本来の木の色を引き出す、色付けのないコーティング)

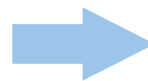
洗いを行った後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例



自然さを望む施主様の希望で、コーティングを敢えてしない仕上がり



自然さを望む施主様の希望で、コーティングを敢えてしない仕上がり



長年の汚れやシミを除去、本来の木の色が復元されました。
(洗い後、お好みの色にすることも可能です。)

洗浄前



洗浄後

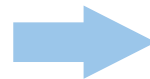
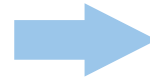


コーティング後

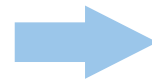
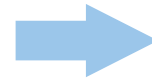


洗いにより汚れやシミを除去した後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例

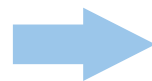
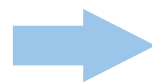
洗いを行った後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例



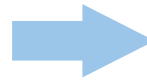
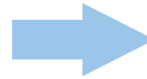
洗いを行った後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例



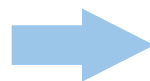
洗いを行った後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例



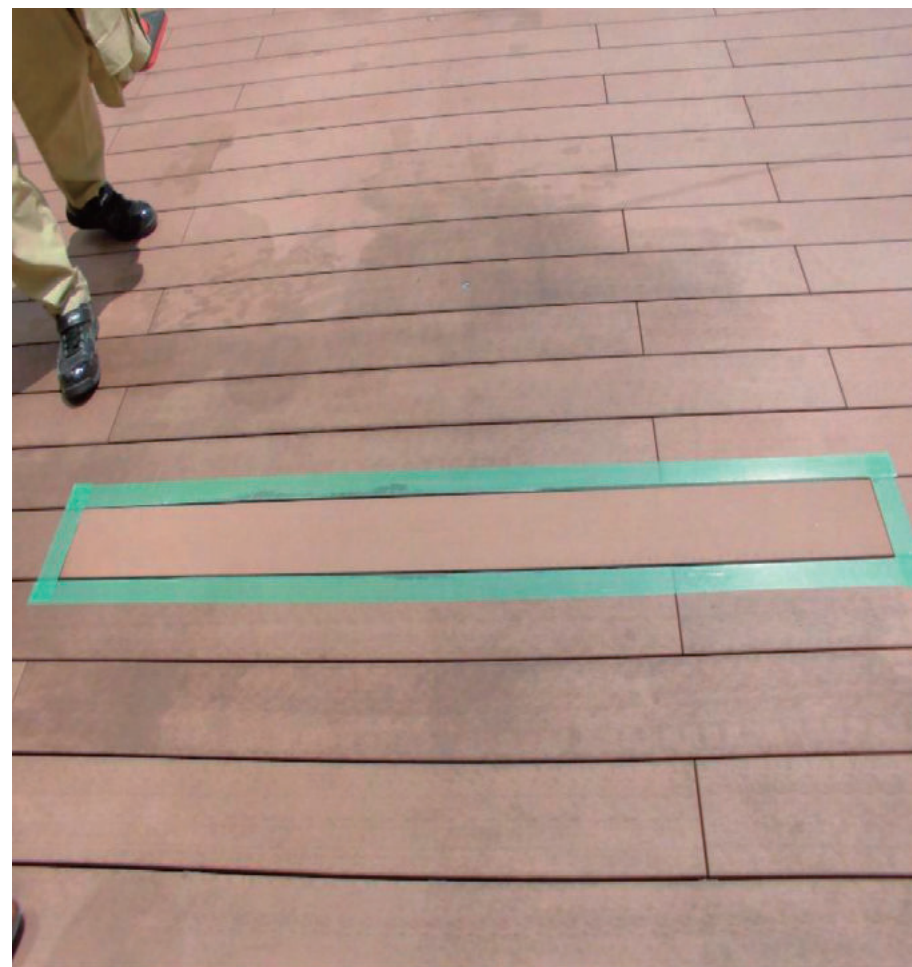
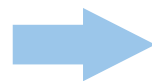
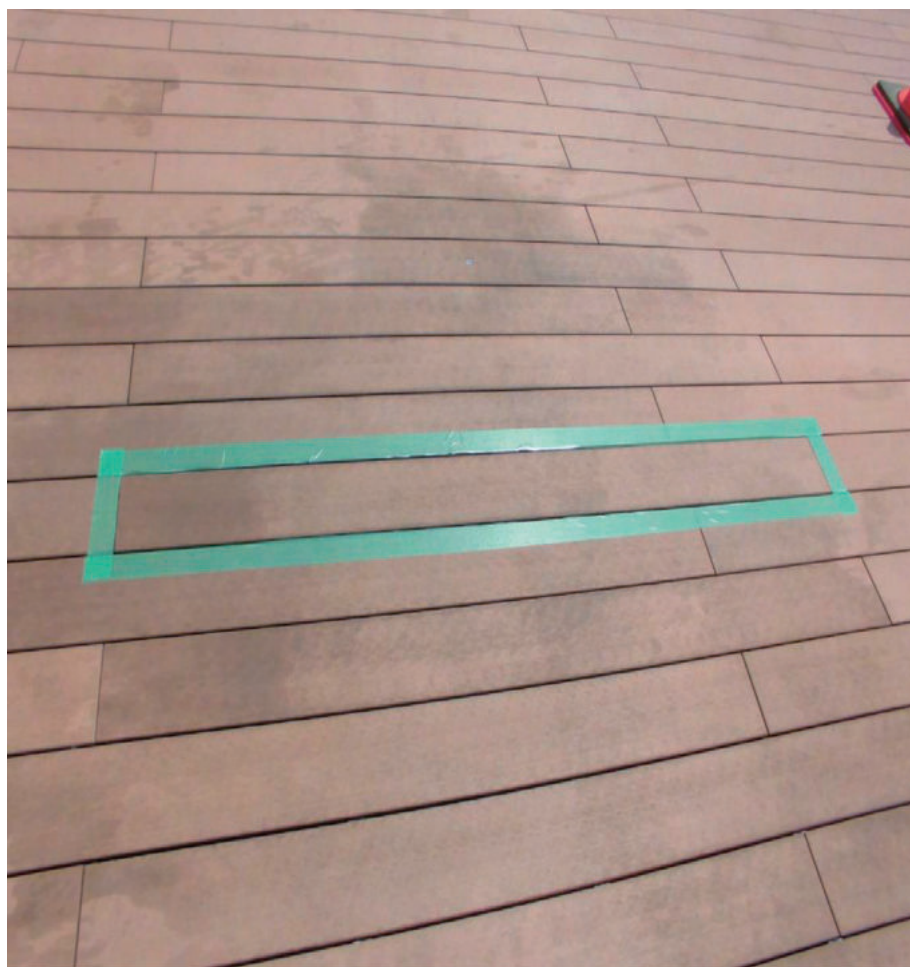
アボガド材格子を、塗装ではなく復元したものの



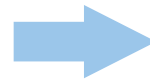
洗いを行った後、コーティングを施し、お好みの色に仕上げた例



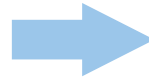
汚れ、シミのみを除去し、天然木の本来の色を復元





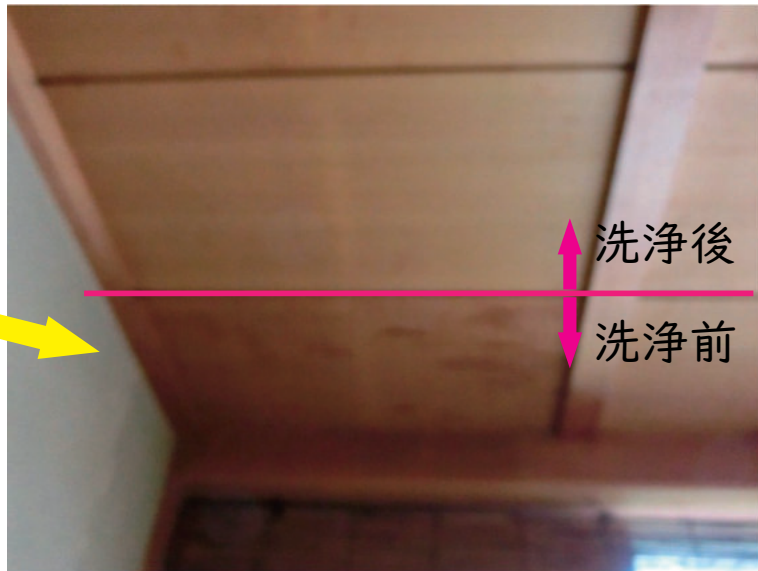


積年の汚れやシミを除去し、本来の木の色を復元
(洗い後、お好みの色にすることも可能です。)

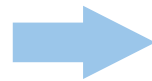
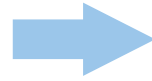


汚れ、カビ、シミを除去し、木の本来の色を復元

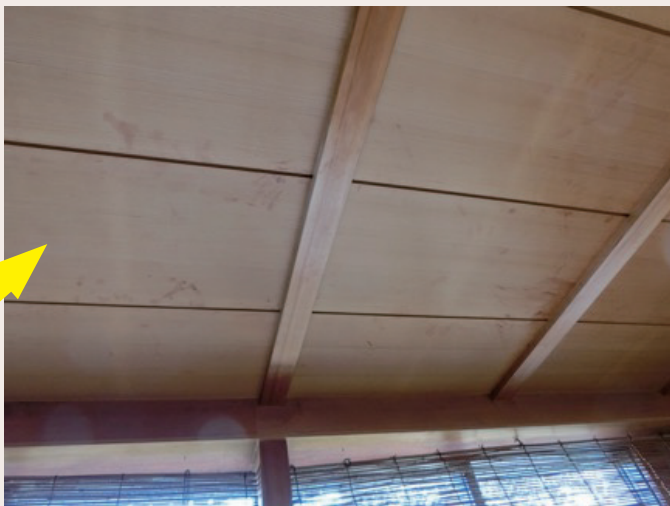
竣工時等に触って付いた手の油分が経年により現れている



※画質が粗く申し訳ございません



施工前の状態



施工後

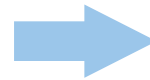


※左右の写真は同じ部屋の施工前後写真ですが、撮影方向が異なるものがあります。



天井のこのような汚れは、普通の清掃業者ではなかなか落とせない汚れですが、弊社では木洗い職人の技術により、きれいに復元することができました。

自然さを望む施主様の希望で、コーティングを敢えてしない仕上がり

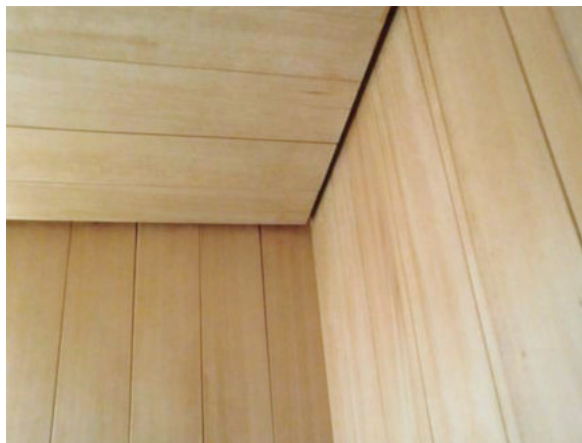


施主様のご希望で、思い出の傷などはあえて残しつつ、
削らずに長年の汚れやシミだけを除去、本来の木の色を復元しました。
(洗い後、お好みの色にすることも可能です。)

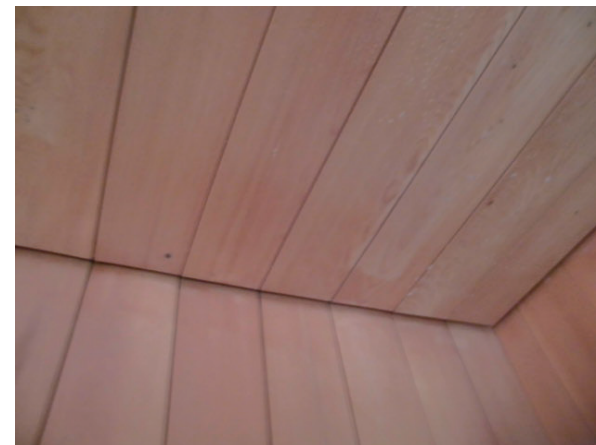
洗浄前
2013年9月



洗浄・コーティング後



施工から11年経過
2024年9月



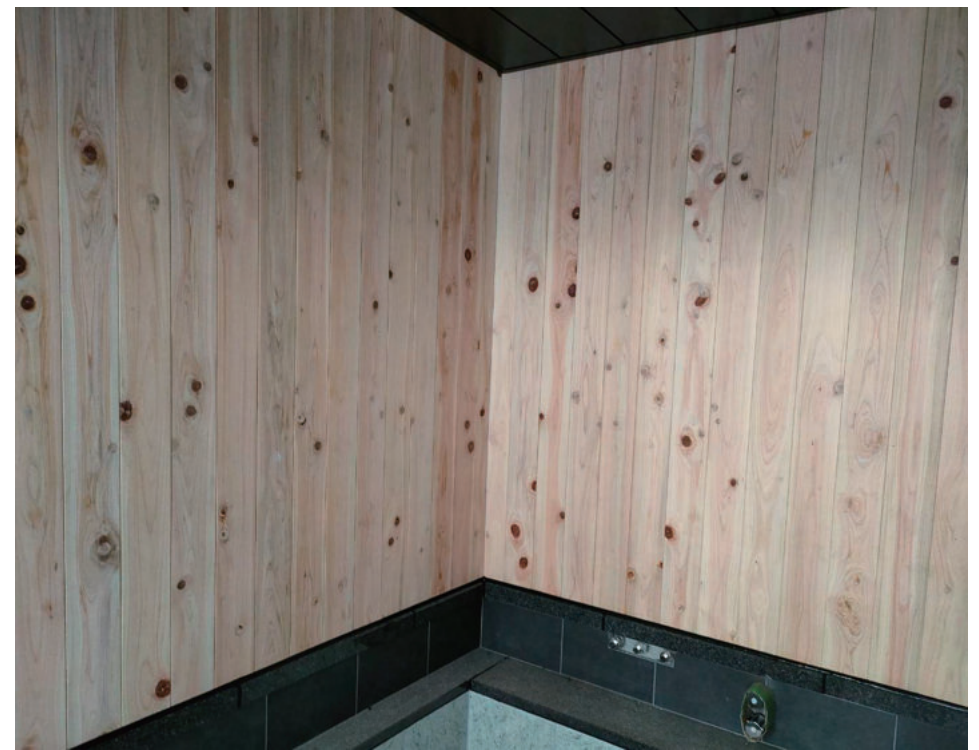
11年後にメンテナンスを行ったところ、部分的に表面にカビがわずかに発生していましたが、施工前のようなひどいカビ汚れは見られませんでした。11年前のコーティングにより、カビの根が木の内部に入り込むことはなく、メンテナンス時には簡単に表面の汚れを除去することができました。湿気のこもりやすい角の部分もカビはほとんど生えず、カビ除去後も木そのものに色抜けや腐敗は見られませんでした。木の表面を強化し、劣化を遅らせ、カビや汚れを防ぐ効果が10年以上保たれたことが分かりました。

新品の板壁に弊社の特殊な防汚浸透性ガラスコーティング剤を塗布して浸透させています。

- このコーティング剤は浸透性であり、浸透してガラス層を作ります。塗膜性のように表面に膜を作らないため、剥がれたりめくれたりすることはありません。
- 表面張力により撥水するため、カビや汚れの付着が発生しにくくなりますが、空気は通し、呼吸できますのでヒノキの香りを妨げません。
- 表面にカビが付着してもガラス層に根を張ることができないため、ブラシで優しく擦るなどの簡易な清掃で落とすことができ、メンテナンスが非常に容易になります。
- ご希望により、わずかに濡れ色になる仕上がりとなるコーティング剤、濡れ色にならず、乾いた木の色のままの仕上がりになれるコーティング剤を選べます。



わずかに濡れ色になる仕上がりとなるコーティング剤を使用



乾いた木の色のままの仕上がりも可能

新品の天然板に浸透性ガラスコーティング剤を塗布し、長期美観保持の効果を付与しています。
乾いた木のままの色の仕上がりになっています。

コーティング材塗布前



塗布直後の色（濡れ色）



塗布完了直後（乾燥前）

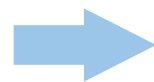


乾燥後

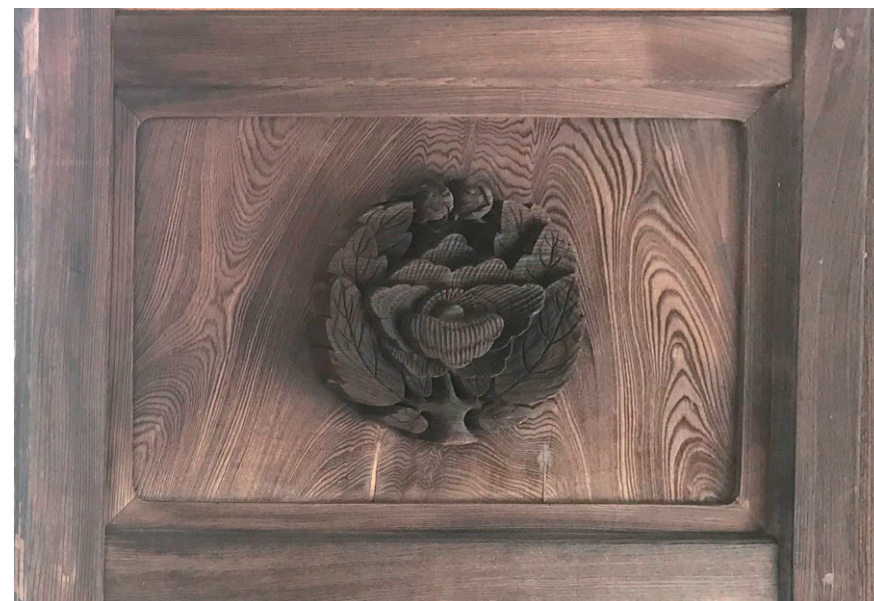


乾くと、塗布前とほぼ同じ質感になります。
塗膜を形成しないため、テカリや人工的なツヤはありません。
木そのものの風合い、色合いを残したまま、水を通さず、空気を通しますので、
木の手触り、質感、香りに変化はありませんが、防汚、防カビ効果が持続します。

他社による高圧洗浄後、約30年経過した後の状態。
当初はきれいに見えたが、のちに高圧洗浄による傷跡が現れた。



洗浄・コーティング後



リボン工法により、
傷ついた箇所も上の写真のように
復元できます。



リボン工法なら、
このような傷をつけることなく、
美しい状態に復元します。

塗膜性と浸透性のコーティングによる仕上がりの違い

風除室内は、他社による表面を削った後に塗膜性コーティングをしたものです。ツヤが出ていますが、剥がれたりめくれたりしやすいものです。フロア内はリボン工法により、表面を削ることなく、特殊洗浄剤にて汚れだけを除去し、浸透性ガラスコーティングを塗布しています。浸透性コートはめくれたり剥がれたりすることなく、長期的に美しさを守ることが可能です。施主様のご希望により、ツヤを抑えた高級感のある仕上がりにしており、無垢の高級木の質感を変えないため、ご満足いただけるものとなりました。

